

# 令和2年度大学院入学試験問題

## (後期募集)

### 教育実践高度化専攻

### 現代教育課題研究コース（道徳・生徒指導領域）

#### 注意事項

- 1 問題用紙と解答用紙は別である。解答用紙に記入すること。
- 2 道徳及び生徒指導にかかる関連領域の3問の中から自由に2問を選択して解答すること。
- 3 解答用紙は、1問につき1枚を使用し、解答する問題番号（1～3）を解答用紙ごとに所定の欄へ記入すること。解答スペースが足りない場合は、裏面を使用してもよい。
- 4 解答用紙には、受験番号を所定の欄に必ず記入すること。
- 5 試験終了後は、解答用紙のみ回収する。問題用紙及び下書き用紙は持ち帰ること。

道徳及び生徒指導にかかる関連領域の3問の中から自由に2問を選択して解答すること。

### 問題1

「特別の教科 道徳」として教科化された道徳科授業では、「問題解決的な学習」が指導法のひとつとして推奨されている。その指導法は、どのような特徴を有し、なぜ道徳科授業にふさわしいと考えられているのか論じなさい。

### 問題2

平成29年3月に告示された中学校学習指導要領の前文には「これからの中学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、一人一人の生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようになることが求められる。」と示されている。このことについて、キャリア教育との関係性を踏まえながら実践事例をあげ、期待される効果について論じなさい。

### 問題3

学校における児童生徒の指導のために、スクールカウンセラー（SC）やスクールソーシャルワーカー（SSW）の導入が各地で推進されてきている。こうした状況において、スクールソーシャルワーカー（SSW）の生徒指導における役割について、あなたの考えを論じなさい。